

平成 28 年度 第 3 回評議員会（報告）

日 時 平成 29 年 2 月 20 日 15:45-17:00

場 所 会議室

参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	
1	加藤敬一	赤穂中学校教頭	地元中学校関係者	○
2	小原 恒敏	定時制振興会理事	定時制OB	○
3	下井節子	前全日制 PTA 副会長	保護者の代表	○
4	田中 清志	(株)駒ヶ根管工業	地元企業の代表	○
5	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	○
6	林 恵美子	同窓会副会長	本校同窓会の代表	○
7	山田秀明	小町屋区区長	地元住民の代表	

職員

学 校 長	伊藤 信夫	生徒指導主任	村田 敏郎
全 日 制 教 頭	青木 修一	生徒会担当	倉澤 克弥
定 時 制 教 頭	竹内 豊一	3 学 年 主 任	林 秀孝
事 務 長	宮島 桂	2 学 年 主 任	星野 竜郎
教 務 主 任	田中 誠一	1 学 年 主 任	伊坪 一徳
商 業 科 主 任	小山 雅人		
進 路 指 導 主 任	熊谷 尚		

I 学校評議委員会 15:45 ~ 17:00

- 1 開会の言葉
- 2 学校長より
- 3 平成 28 年度学校自己評価（最終評価）の報告
 - ① 全日制の最終評価表の説明（田中教務主任）
進路指導係、生徒指導係、生徒会係、学年主任（1年～3年）、商業科主任より近況報告
 - ② 定時制の最終評価表の説明（竹内教頭）
定時制の近況報告
- 4 学校評議員の様からのご意見・助言
- 5 評価のまとめ
校内評価と学校評議委員からの評価を照らし合わせ、合同協議の上、最終評価を決定した。
- 6 閉会の言葉

《学校評議員様からのご意見・助言》

評議員氏名	助言等
<p>小原 恒敏氏 (定時制振興会 副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂高校の生徒の記事が新聞などに載って注目度が上がった ・昨今の社会の中で、大人の倫理観にも疑問を感じることがある。そうした中で高校生への指導にも戸惑うことがあると思う。地域社会との連携や協力体制を広げてより良い活動や指導をしてほしい。
<p>田中 清志氏 (株)駒ヶ根管工業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の中の負の意見に関する部分を分析し、どう改善していくのが大切。よい面はさらに伸ばして欲しい。 ・100周年記念事業の成功は、学校が一体となった結果だと思う。式典の中整然とした姿はとても感動的であった。 ・赤穂高校の特徴はどのようなものか。就職は良さそうだが、進学でももう少し頑張ってもらいたい。 ・外向きの活動が見られた。様々な経験の場面でやる気を引き出してくれたのではないかなと思う。
<p>西垣内 磨留美 (長野県看護大学教授)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の中で学校との関わりが少ないため評議員として評価をつけるのは難しかった。 ・生徒の自治運営する力がなかなか育たないとのこと。3年間居ても実質1年間しか生徒会などの運営活動はできない。短い期間しかないのだから支えて育ててほしい。 ・新テストの導入などへの対応を進めてほしい。考える力の育成として、様々な経験の場を通して自主性や自立心を育ててほしい。 ・商業科の活動とコラボさせるなど学科を超えた取り組みができれば普通科の生徒にも具体的な経験の場が作れるのではないかな。赤穂高校ならではの特徴となるような仕組みを考えてほしい。
<p>林 恵美子氏 (同窓会副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念事業の準備で学校へ詰めていると生徒たちが挨拶をしてくれた。とても良い生徒たちだが、服装の不揃いや化粧、装飾品など身嗜みの観点からも制服があるとよいと思う。 ・商業科の活動が目立ったが、普通科の特徴や結果が伝わっていないのではないかな。 ・アンケートの結果から負の評価に目を向けて生徒を大切に育ててほしい。
<p>下井 節子 (元全日制 PTA 副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の中で負の意見となる項目への取り組みを大切にしてほしい ・大人になって自分自身の高校時代の学習不足を感じることもある。クラスや学校内の雰囲気大切に学習に集中できる環境づくりに心がけてほしい。 ・生徒会・部活などの活動を通して生徒が自立できる場面や経験を積んでほしい。
<p>山田 秀明 (小町屋区区長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の目から学校の努力する姿が見られた。 ・先生たちの取り組みについて生徒の評価から見られる。生徒の活動として部活動の成果や生徒会活動などから読み取ることができた。さらに積極的な活動で盛り上げてほしい。 ・100周年が良いきっかけになり一つの目標に向けて学校全体が取り組むことができたのではないかな。今後も一体感のある学校づくりを心掛けてほしい。 ・通学路の清掃活動や地域の活動への参加など地域を大切にしたい取り組みを今後も期待する。 ・進路の決定状況から、進学・就職ともに成果が見られ安心した。地元企業への就職が多く大変うれしい。定時制の進路状況が厳しさを感じる。